やすぎ 市議会だより

No. 48
平成28年10月20日
安来市議会
TEL 23−3125
FAX 23−3153
ホームページ
http://www.city.yasugi.shimane.jp/gikai/

現安来庁舎と建設中の新安来庁舎（安来町）

平成28年9月定例会（第84回）

９月定例市議会は９月１日から２０日までの２０日間の会期で開催し、市長提出議案２７件のうち１７件及び議員提出議案１件は、いずれも原案どおり可決及び認定等しました。また、市長提出議案１０件については、継続審査としました。

主な掲載内容

- 本会議で審議された議案等　Ｐ２～Ｐ３
- 請願・陳情の審査結果等　Ｐ３
- 一般質問　Ｐ４～Ｐ６
- 行政視察報告　Ｐ６～Ｐ10
- 議会報告会　Ｐ11
- 議会の動き、編集後記　Ｐ12

資源保護のためこの広報紙は再生紙を使用しています。

決　結　果　等

議案番号	澤田秀夫	佐々木厚子	丸山征司	作野幸憲	樋野智之	原田貴与子	田淵秀喜	石倉刻夷	岩田拓郎	永田巳好	葉田茂美	金山満輝	嶋田豊昭	井上峯雄	佐伯直行	中島隆夫	上廻芳和	遠藤　孝	梅林　守	田中武夫
議第71号	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長
議第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第76号	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第79号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
認第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
認第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
議第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長
陳情第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長

賛成 … ○ 、　反対 … ● 、　欠席 … 欠 、　除斥 … 斥 、　退席 … 退
議員数20人　議員定数21人　議長は採決に加わらない

平成28年９月　第84回定例市議会

― 本会議で審議された議案等 ―

【市長提出議案】

◎同意案件

・同第２号　安来市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
・同第３号　安来市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

◎諮問案件

・諮第２号　人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

意見書の提出について

９月20日、「陳情第４号　次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書提出を求める陳情」が、本会議で採択され、議員により「議第83号　次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出について」が議会に提出され、原案可決となり、関係行政庁へ意見書を提出しました。

12月定例会は12月１日開会の予定です

議　案　等　の　議

議案番号	件　名	議決結果	賛成	反対

平成28年9月定例会

【市長提出議案】

議第71号	安来市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	16	1
議第72号	市道路線の認定について	原案可決	17	0
議第73号	市道路線の変更について	原案可決	17	0
議第74号	高規格救急自動車の取得について	原案可決	17	0
議第75号	安来市民会館（仮称）建設工事（建築）請負契約の締結についての議決の一部変更について	原案可決	17	0
議第76号	平成28年度安来市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	16	1
議第77号	平成28年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	17	0
議第78号	平成28年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	17	0
議第79号	平成28年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	17	0
議第80号	平成28年度安来市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	17	0
議第81号	平成28年度安来市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	17	0
議第82号	安来市伯太青年研修センター設置条例を廃止する条例制定について	原案可決	17	0
認第11号	平成27年度安来市水道事業会計決算の認定を求めることについて	認　定	17	0
認第12号	平成27年度安来市病院事業会計決算の認定を求めることについて	認　定	17	0

【議員等提出議案】

議第83号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出について	原案可決	17	0

【請願・陳情】

継続審査となっていた陳情の審査結果

陳情第4号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書提出を求める陳情	採　択	17	0

請願・陳情の審査結果（第84回定例市議会）

番　号	件　名	提　出　者	付託委員会	審査結果
陳情第5号	中国共産党政府による法輪功迫害の停止と、臓器の強制摘出の停止のため日本政府の正義の行動を求める陳情	NPO法人日本法輪大法学会 代表　孫　樹林	総務企画	継続審査

継続審査となっていた陳情の審査結果

番　号	件　名	提　出　者	付託委員会	審査結果
陳情第4号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書提出を求める陳情	島根県福祉用具連絡協議会 副会長　園山　昇	文教福祉	採　択

決算審査特別委員会の設置について

９月定例会に提出された「認第１号　平成２７年度安来市一般会計の認定を求めること」外９件について審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。また、９月２０日、本会議で継続審査となった「認第１号」外９件については、閉会中も継続して審査を行います。

平成28年９月定例会　一般質問

樋野　智之　議員

一括方式

1．運転免許の返納について
2．公共施設等総合管理計画策定の進捗状況と今後の取組について
3．協働のまちづくりについて
4．広瀬に図書館設置のための進捗状況は

質問　市内交通空白地域に居住する人口比率は。
答弁　平成28年4月末現在18.6％。
質問　運転免許証返納の状況、現在の特典は。
答弁　平成25年は23人、26年38人、27年68人、28年７月末で50人。年齢を問わずイエローバスを半額で利用できる。
質問　支援促進は、交通空白地帯を解消に、タクシー利用支援が必要と思うが。
答弁　交通弱者の方への交通移動手段や対応策を検討していく。
質問　現保有全公共施設の将来更新費用は。
答弁　管理計画対象50㎡以上の全施設で、更新費用は人口１人当たり年57,643円と試算している。
質問　図書館整備の進捗状況は。
答弁　今年度は、基本構想策定業務を実施している。今後、この基本構想を基に施設の規模・場所の選定等を含め、早期に整備を進めていく。

石倉　刻夷　議員

一括方式

1．三期目を目指す近藤市長の市政ビジョンについて
2．山の駅の設置について
3．農業委員の任命制度について
4．集落営農法人の広域連合組織化支援について
5．公職選挙法改正による投票者の状況について
6．橋梁延命化事業の今後の対応策について
7．新安来庁舎建設に伴う既存調度品、備品等の扱いについて

質問　「山の日」が制定された今年、地方創生とからめて、「山の駅」の設置に関して、類似施設の情報収集及び実施した場合の効果等、研究された状況について伺う。
答弁　山の駅を標榜する施設について調査したところ、特産品販売、宿泊施設もあれば、単なる休憩所などもある。現有施設を「山の駅」として位置づけ活用するには、施設の状況、役割等を整理していくこととなると考える。

嶋田　豊昭　議員

一括方式

1．市政運営について
2．安来市立病院経営について

質問　２期８年間にやり残した政策、今後の重点施策。切川バイパス早期開通に向けた政治的努力等について問う。
答弁　やり残した政策は福祉、道路整備などたくさんある。人口減少対策、定住対策、企業団地造成、観光振興等、強力に推進していく。また、中海・宍道湖・大山圏域市長会等で圏域の底上げをしていきたい。切川バイパスは重点事業としており何度も要望しているが、さらに早期開通に向け努力したい。
質問　安来市立病院新改革プランの策定が進められているが、行政の責務の一環である。病院経営に対する決意を問う。
答弁　公立病院として長い間安来市立病院はその責任を果たしてきた。人口減少の中で患者数が減少しているが、全力で公立病院の維持に努め、市民への良質な医療の提供を行っていく。

澤田　秀夫　議員

一括方式

1．市民支援制度について
2．安来市ふるさと寄附について
3．学校給食について
4．水産事業について

質問　平成27年度のふるさと寄附の金額状況は。
答弁　寄付額は１億3,628万円余、歳出額は6,607万円余、減額された税額324万円余となり、寄付額から歳出額及び減額された税額の差は、66,965,648円。寄付額に対する歳出額、減額された税額の割合は50.86％となる。
質問　人気の返礼品ベスト５は。
答弁　①純粋れんげ、はちみつ３本セット、②イチゴ　紅ほっぺ、③ＢＧ無洗米銘柄セット、(10kg×３回コース)、④ヤスキハガネの包丁　三徳包丁、⑤ＢＧ無洗米銘柄　食べくらべセット
質問　具体的に市が実行する戦略は。
答弁　返礼品用の「魅力ある商品」開発の働きかけと「ふるさとチョイス」や「楽天市場」は勿論、様々な機会やツールを活用し「情報発信」を行っていく。

質問及び答弁の一部を掲載しています。

丸山　征司　議員

一問一答方式

1．山陰新幹線誘致について
2．高速バス安来停車について
3．水道料金改定について

質問　高速バス安来停車の概要と経緯近況について。

答弁　高速バスストップは市長新任の際に公約されており、国やバス事業者と協議を重ね、議会でも議論してきた経緯がある。また、大山パーキング～宍道サービスエリアの区間は休憩施設が無く、ちょうど中間地に位置する安来市にパーキングエリアを設置するよう国に要望してきた。そして、スマートチェンジの要望、協議も行っており、国・県と関係機関と必要性や可能性も含め検討を重ね、安来市の現状を踏まえながら費用、効果等を探っていく中で、これら３事業で今安来市にとって何が一番必要で、何から着手していくのが将来の発展に繋がるのか、一度白紙に戻して検討した結果、スマートチェンジの設置に絞り込み現在取組んでいる。

佐伯　直行　議員

一問一答方式

1．中心市街地活性化について
2．スマートインターチェンジについて
3．命・生活・地域産業の道路網整備について
4．新たな公約について

質問　旧安来市では、平成16年に活性化基本計画を策定している。新たな総合計画等には、中心市街地活性化に特化した基本計画は見当たらないが、今後の策定の考えは。

答弁　合併後も、旧安来市の基本計画を踏襲している。平成25年に中心市街地基礎調査を実施し、その結果、事業者・地域住民の機運が十分でないこと、また人材育成が必要との分析から、今後も検討していく。

質問　木戸川改修の整備内容について。

答弁　木戸橋は、今年度と来年度に架け替えの計画である。平成30年度より護岸や堤防部の残工事とＪＲ橋までの改修工事予定である。また、防災公園整備においては、木戸川に面した部分に植栽やベンチの設置を行い、プロムナードを整備する予定である。

原田貴与子　議員

一問一答方式

1．子育て支援の施策について
2．高齢者が安心して住み続けられる町づくりと地域支援事業のあり方について
・地域支援事業には、市のサービス体制づくりとボランティア養成が必要だ

質問　子どもの貧困問題の現状把握、対策はどうか。

答弁　子どもの生活困窮については、生活保護家庭や要保護、準要保護家庭の状況把握を行っている。また、子ども達が食事や教育に困ることがないように社会福祉協議会やＮＰＯ法人等と連携を図り、各種相談事業の中で対応している。

質問　母子世帯の稼働所得は低い。所得の再配分策が必要である。子どもの医療費助成制度を高校生まで拡充の財源と所見を伺う。

答弁　2,300万円程度必要だが、今後も、国、県の制度とするよう要望する。

質問　就学援助制度は援助の範囲が広げられたが、受給率が低い。周知の必要性と生活保護基準の1.5倍にすべきである。

答弁　就学援助は県下のトップクラスで、受給率は毎年少しずつ上がっている。

佐々木厚子　議員

一問一答方式

1．高齢化対策について
2．学力向上の取組について
3．食品ロス削減について

質問　小山市の「いきいきふれあい事業」についてどう思うか。

答弁　運営委員会が組織され、老人クラブやボランティアの方で運営されているので、組織的な事業のあり方について今後参考にしたい。

質問　学力向上に向けて心がけていることや、力を入れている取り組みはあるか。

答弁　子どもたちが勉強したくなる授業づくりとして、キャリア教育の推進、教員の指導力向上、家庭教育の充実を図ることで学力向上を目指す。

質問　英検受験料の助成をする考えはないか。

答弁　個人の資格であるとの観点から、個人が負担するのがふさわしいと考える。

質問　安来市独自のフードバンクの取組は。

答弁　事前登録の協力企業に対し、余剰食品の提供を依頼する「登録型フードバンク事業」を開始している。

詳細は後日、会議録にてご確認ください。
（市立図書館またはホームページ）

一問一答方式

田淵　秀喜　議員

1．市政運営について
2．道路、河川、架橋改修・維持等、管理計画と取組状況について
3．中山間地域の農林業課題と具体的取組について
4．安来市の教育、文化活動の具体的取組について

質問　６月議会にて市長の判断・指示により公共施設等総合管理計画を策定すると伺った。その進捗状況を伺いたい。

答弁　公共施設の適正化の中身は、約250の公共施設を全部洗い出し、統廃合を含めて方向性と実施時期について、協議を進めている。目標値の考えは25％減と考えている。

質問　日本遺産認定に関わる安来市の取組について伺う。

答弁　観光振興、地域振興、人材育成などの取り組みを進めると共に、和鋼博物館の発信力を強化し、既存のたたら遺産の公開、観光ガイドの育成などを考えていく。

行政視察報告

※紙面の都合上、一部を省略しています。

議会改革特別委員会

5月17日～18日、行政視察を行った。

〈視察目的〉

「議会基本条例の制定について」と「議会の透明性を推進するための議会ホームページの充実について」、また「コスト削減及び事務効率化・省力化のための議会ペーパレス化の検討について」の3項目を中心に調査・検討を進めるために、今回香川県東かがわ市と徳島県神山町、兵庫県高砂市の2市1町を行政視察した。

1．香川県東かがわ市

◇議会基本条例制定の経緯及び検証状況について

◇タブレット端末の導入経緯、活用状況について

「議会基本条例制定について」は、策定の目的と議員が一丸となって進めていくことが一番大事ではないかと説明され、策定へ向けての方向性が明確になった。

「タブレット端末の導入について」は、導入するのであれば「最初から議会システムの導入も考えて進むべき」との助言をいただいた。

2．徳島県神山町

◇サテライトオフィスの取組等について

情報発信という観点から全国でも有名になったサテライトオフィスの取り組みなどについて「ＮＰＯ法人グリーンバレー」を訪問し、説明を受けた。

ここでの取り組みで参考になったことは、「地元の昔からの既成概念などにはまらない」ことが、地方創生モデルとして高く評価されているのだなと痛感した。

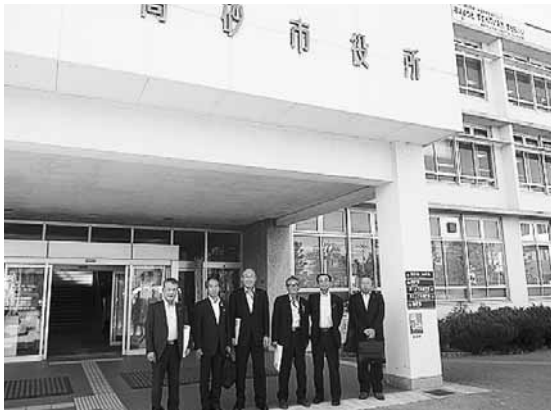
香川県東かがわ市

3．兵庫県高砂市

◇議会基本条例制定について

「議会基本条例制定について」を中心に説明を受け、意見交換をさせていただいた。東かがわ市とは「議会基本条例制定について」の考え方が違い、まずは制定し、それから調査・研究を継続することこそが大事だということである。

今回の視察を通じ、「議会基本条例について」は策定目的をはっきりさせて進むのか、それともまずは制定してから進むのか、この点を安来市議会でもしっかり協議し、議論を進めていく必要があると考えた。また「タブレット端末の導入について」は、議会側が主導権を持ち、執行部側と一緒に進めていくことが非常に重要だということを改めて痛感した。



兵庫県高砂市

質問及び答弁の一部を掲載しています。

総務企画委員会

7月13日～15日、行政視察を行った。

〈視察目的〉

1．群馬県前橋市

◇公共施設等総合管理計画について

◇ファシリティマネジメントについて

公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、公共施設の適正な配置・量の考え方、長寿命化・更新・統廃合などを計画的に進めるために、各地方自治体は平成28年度中に公共施設等総合管理計画を策定し、総務省に報告することになっている。併せて公共施設等の管理運営の基本となるファシリティマネジメントについての見解と導入状況が急務となっている。

本市が公共施設等管理計画を策定にあたり、先行する自治体の状況を視察し、議会として執行部への提言・反映の糸口とすべく、群馬県前橋市役所を選定し行政視察を実施した。

群馬県前橋市

2．岩手県奥州市

◇協働のまちづくり推進事業について

本市は、第2次安来市総合計画の将来像「人が集い未来を拓くものづくりと文化のまち」の実現に向けた施策、及び安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口減少対策と安来市の創生を目的とした施策の取り組みが今年度から動き出した。その中で人が住むまちづくりを進めるにあたり、何が大切か何を進めるべきか、先進事例をもとに考察課題を検討した。

この度は行政と市民の皆さんなどと協働でまちづくりを推進されている岩手県奥州市を視察先に選定し行政視察を実施した。

3．東京都江東区

◇タブレット端末導入について

◇議会システムについて

本市は来年5月末に安来新庁舎が竣工する。それに併せて議会のペーパーレス化検討で来年9月議会からタブレット端末を導入する方針が決定している。

当委員会として未だ導入している自治体が少ない中で、議会での使用状況、事務効率化・省力化のための調査・検討する為に、既に導入を図っている東京都江東区役所を行政視察した。

東京都江東区

〈考　察〉

前橋市の取組みについて、平成25年に管財課内部でファシリティマネジメント導入の取組みをスタートされ、まとめられた内容を説明受けた。職員のうち一人はＪＦＭＡ主催の資格・ファシリティマネジャー資格を保有されている。そして計画の目的、計画対象とする範囲、計画期間、現状と課題を明確にまとめられ、将来の更新費用推計、今後の分野別方針・全体方針を僅か4年でまとめ上げられた内容には感服しました。特に現時点での課題も明確で、保有総量の縮減のイメージに対しても一次評価分析から二次評価、三次評価と計画順に設定されている。（※表参照）

安来市のファシリティマネジメントの現状を照らし合わせながら説明を受けた。担当の管理職も同席して説明を受けたので、帰市の暁には前橋市の推進方法を参考にされる事を期待したい。

※【評価基準】

Ⅰ　一次評価
「施設性能」……老朽化、防災性、耐震状況等
「利 用 度」……施設利用率、施設利便性等
「コスト効率性」……管理コスト、光熱水費、単位面積あたり収支等
⇒ポートフォリオ（偏差値/相対値）分析により、施設を類型化

Ⅱ　二次評価
「偏在状況」……地域ごとの施設の偏在
「将来人口予測」……域ごとの将来人口
「まちづくり」……今後のまちづくりと連動
⇒面的な分析により、施設集約等を検討

Ⅲ　三次評価
資産利活用推進委員会で最終的な方向付けを出す
⇒「継続」　「複合化」　「移転」　「廃止」

詳細は後日、会議録にてご確認ください。
（市立図書館またはホームページ）

文教福祉委員会

7月26日～28日、行政視察を行った。

〈視察目的〉

安来市第2次総合計画が策定され、将来のまちづくりの方向性が示される中で、人口対策を中心とする様々な施策が進められている。国主導により昨年10月より展開されている地方創生総合戦略は、各地域の特徴・特色を生かした独創的な発想による政策展開を、数値目標を掲げ実効性を高めた取組みとなっており、この一年間の成果が問われる時期となる。

そうした状況を鑑みれば、将来のまちづくりを担う意思決定機関である議会の役割・機能強化が不可欠であり、住民ニーズを把握したスピード感ある議会運営と、決意を持った改革が必要と考えている。

今回の視察は、当委員会所管の重要事項である①教育施策②高齢者福祉③市民の健康づくりについて先進地を訪問し、市政運営に対し、議会自らがその役割を確実に果たすべく改革・機能強化を図るとともに、発展的な提言を行うべく実施した。

1．秋田県潟上市

◇全国学力調査日本一・秋田県及び潟上市の学力向上・教育行政全般について

全国学力テスト日本一の秋田県の取組みはさすがと思えるものばかりだった。学力向上に向け特別に力を入れてきたというより、「早寝、早起き、朝ごはん」といった基本的な生活習慣が子ども達の心身の安定に繋がっている状況に感銘を受けた。

家庭学習は量より質であり、学校と家庭を繋ぐノートを活用し、学習の内容を確認している。また学校での学習は、無回答ゼロの取組みを行う中で、子ども達が何としても答えを出そうと挑戦する事や、「それはどういう事」「それはなぜ」と教師が問いかける事で、深い学び、気づき、広がりを感じ、最後まで諦めない事を学ぶ。そして、地域では学校支援地域本部事業を行う事で、地域が学校に対し非常に関心が高く、距離も近い。それが学校や学習を支える地域力、家庭力になっている。

また、人づくりがまちづくりだ、教育だという市長の思いも強く、教員達も良い取組みを知ると、自分でも、学校全体でも実践してみようという姿勢で取り組んでいる。教育委員会のビジョンも明確に作成され、教育行政に生かされている。

安来市も様々な取組みがなされていると思うが、教育委員会の主導的な動きが見えないように思えてならない。秋田県の取組みは大いに参考になるものと思われる。今後、学力向上についての取組みを更に進めていくことを望む。

2．福島県伊達市

◇「健幸都市」の取組みについて
◇特区指定・「健幸ポイント」プロジェクトについて

健康についての取組みに意気込みを感じた。「健康」を「健幸」とした意味は、「健康で幸せな生活を送る事」であり、健幸都市を目指して様々な取組みを市民あげて行い、健康について考え実践する中で、元気なお年寄りが増え、健診受診率も上がっている。中山間地域も多数あるがモデル地域設定し積極的に展開されており、市民ワークショップが精力的に開催され、それぞれの地域の特徴を活かした執行性ある取組みが印象的だった。主なものとして、市民交流拠点まちなかサロン、高齢者専用シェアハウス、ウエルネスサテライト整備等々がある。

福島県伊達市

伊達市のまちづくり基本構想・計画が市長のリーダーシップにより政策展開されており、具体的な施策がぶれていないと感じる。平成25年に健幸都市基本条例を制定し、26年に健幸都市基本計画が策定され、健康づくり・暮らしづくり・人づくりの分野に分け、取り組まれている。安来市の政策に参考になる点も多々あり、今後政策提言をしていきたい。

3．栃木県小山市

◇高齢化対策全般について
◇地域包括ケアシステムについて

小山市は高齢化対応度調査で全国一位。この調査は全国の789市と東京23区の計812市区を対象に行われた。

小山市では市内6カ所に高齢者サポートセンターを配置している。これは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続する事が可能な社会を実現する為に、できる限り要介護状態にならないよう介護予防サービスを適切に確保すると共に、状態の変化に応じた必要なサービスが切れ目なく提供される包括的・継続的なサービス体制を確保する事を目的として設置された。

また、高齢者が気軽に立ち寄れる場所を市内31カ所にいきいきふれあいセンターとして配置している。生きがいができ仲間が増えたと、参加者の要介護になる可能性が低くなる等と効果が目に見えて出ている。

安来市も小山市同様に、急激な高齢化への対応は避けて通れない。地域の実情に応じ高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を送る為の医療、介護、介護予防、生活支援を包括的に確保する体制作りを推進する必要があると感じた。

12月定例会は12月１日開会の予定です

地域振興委員会

4月26日～27日、行政視察を行った。

1．愛知県大口町

◇企業支援と誘致について

大口町の産業データを見ると製造業の割合は、事業種別の22％、従業者は55％となっている。昼間人口は15，000人増となり、第二次産業・第三次産業に携わる人の割合が如何に高いことが判る。

自主財源は、約73％を確保し財政の健全化がなされているが、この要因として法人税の税収が一つの要素となっている。製造業を誘致する場合、同一業種の2社を誘致し競わせる戦略で、企業の業績を引上げ税収の確保に役立てている。

また、企業誘致後も既存企業の町外流出防止策を考え、新たな補助事業等を展開する。

企業誘致の場所も工業団地造成ではなくオーダーメイド方式で、企業のニーズおよび町財政に及ぼす影響を考慮しながら狭い土地を有効に活用している。工場用地を提供する場合、地権者への説明および価格交渉などは、町職員が積極的に関与し企業誘致に一役かっている。

企業支援ニーズは、補助金の魅力もさることながら人的な支援も含め、臨機応変な支援策が求められる時代にきており、50年後のまちの将来像を描きながら施策が打ち出されている。

愛知県大口町

2．三重県いなべ市

◇いなべの集落農業について

いなべ市の農業は、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加、若者の地域離れ農業離れの課題等を解決するため、将来の集落農業のビジョンを示す独自の「集落営農の仕組み」をつくり上げている。

農地・水路・農道等維持管理方法、農業生産活動、農地利用調整機能、担い手の明確化などを盛り込んだ「集落協定書」を各集落で締結することにより、「集落ぐるみの農業生産対策」の確立を進めている。そして、行政が集落独自の活動に合った支援や補助を行う事により、集落の創意工夫と独自性が発揮されている。「自分の土地は自分で守ろう」を合言葉に組合員が共同作業を行い、収穫した農産物は集落内で消費するなど集落ぐるみの営農を実現している。

この活動の基礎にあるのは、一年間という時間を費やし各集落に出かけ、現状の課題と将来像を共有したことに他ならない。そして、作り上げた「集落協定書」は、いなべ市の農業の礎となっている。

本市の中山間地域の農業も同類の課題が山積している。「自分の土地は自分で守る」ことを各集落全体で考えなければならないが、それには牽引役のリーダーと行政の手助けが必要であると考える。

3．岐阜県郡上市

◇郡上山づくり構想について

郡上市の山林は、92，612haと総土地面積の90％を占めるほど全国でも屈指の山林面積を持つ自治体である。県や市が管理する公有林は9％で個人の所有する私有林は91％とほとんどを占めており、私有林の整備・保全が重要な課題である。

「安心」「循環」「活力」の三つの柱を基本方針として、八項目の基本的施策により具体的な山づくりを進めている。山を守るため市民、山林所有者、木材業・建築業、林業事業体、森林組合、行政がそれぞれ立場で出来る事を理解し合い協力して山づくりを推進している。その一躍を担うのが、「郡上山づくり構想」である。100年後の将来の姿を描きながらそれを実現するために30年間の目標を設定し、毎年、施策の実施状況をまとめ必要に応じて見直しがされている。

森林資源をエネルギーとして活用する木質バイオマス利用施設も温泉施設に取入れ燃料費を年間900万円削減するなどの効果も表れており今後も拡大する予定である。

しかし、山の境界を示す地籍調査などは、各自治体と同様で具体的な有効策がなく頭を抱える課題となっている。

～最後に～

今回の行政視察を通じて、各自治体とも行政の職員がその事業に携わる人々と真剣に向き合い、話し合いの中から30年・50年先の将来を見据えたまちづくりを考え実行に移している。補助金を与える支援だけでは、真の活性化には繋がらない。そこに住んでいる人が「自分たちのまち」をどうしたいのか真剣に考え、そこに行政が寄り添うことで事業は進化する。そういった実践を行っている自治体が各事業の先進的な自治体と考える。

詳細は後日、会議録にてご確認ください。
（市立図書館またはホームページ）

議会運営委員会

8月17日～19日、行政視察を行った。

〈視察目的〉

今回の視察においては、将来のまちづくりに向け当委員会が所管する重要事項である①議会基本条例の制定、②ＩＴ機器を活用した経費節減・効率的な議会運営、③積極的な議会改革への取組み等について先進地を訪問し、将来世代に責任が持てる市政運営の実現に向け、議会自らが、その役割を確実に果たすべく改革・機能強化を図るとともに、発展的な意見提言を行うため視察を実施した。

〈視察概要報告〉

1．埼玉県飯能市

◇タブレット端末活用への取組みについて

平成23年3月に発生した東日本大震災への対応が導入への契機となった。当時執行部でもペーパーレス会議導入への気運があり、一気にタブレット導入につながったとの説明を受けた。導入後、順次本会議等使用範囲を拡大し、現在、議会すべてに使用している。当初は、ペーパーレス化が主眼であったが、今日、議会内の情報伝達、危機管理上の執行部あるいは議員間の緊急連絡、さらには、政務活動調査、各種資料の閲覧、取得等、議員活動に必須となっている。

◇議会基本条例制定までの経緯と制定後の検証体制について

◇その他の議会改革への取組みについて

議会改革検討会を議員全員で構成し、時間をかけてでも結論を出すルールを定め、徹底的に議論を尽くしている。

議会基本条例案文作成チームは、議会改革検討会の内部組織として、8人構成で設置。

困難な議論経過をたどりつつも、平成24年6月定例会に議案を提出。また、政務活動費の審査を事務局任せではなく、議員による政務活動費審査会でチェックされており、市民への説明責任を意識されていた。

2．岩手県滝沢市

◇幸福感を踏まえた総合計画の策定について

「地域デザイン」を住民主体で策定し、以後、地域ごとに地域まちづくり推進委員会を組織し、議論を重ねてこられた。全体計画策定の過程で、各地域の地域ビジョン作りに職員を積極的に派遣し、①市域全体計画（行政が主体で取組む）⇕地域別計画（地域住民が主体）、②幸福実感一覧表、達成度の尺度、象徴指標設定は住民アンケートを元に、多くの市民有志が約2年をかけて作成、③まちづくりの基本として、「住民自治日本一」を掲げ、住民のアイデンティティにアプローチ、④パブリック・インボルブメント手法の活用で、行政職員だけでなく、計画策定に関わった市民が他の市民に説明する等、市民との協働を常に意識した策定過程を心がけられた。

3．秋田県仙北市

◇国家戦略特区への取組みについて

行政主導で平成26年8月に「田沢湖・玉川温泉を中核とした医療・農林ツーリズム特区」として、内閣府に国家戦略特区提案書を提出した。前提には、市内の事業意欲の高い事業者の要望があり、地域の特性を活かした産業・地域振興、新たな産業創出を通じ地域の生活を守るためには、様々な規制の廃止・緩和に対する声が行政に多く寄せられていた。この提案書の中で、農業生産法人の育成強化に伴う耕作放棄地の防止を検討した結果、新たに、「無人自動飛行（ドローン）に関する提案」を「近未来技術実証特区」として追加提案された。県内にドローンを製作している会社があり、高額なヘリコプターに替え、ドローンによる農薬散布の取組みを進めている。ドローンの飛行による空中からの情報には、災害対策等多くの活用策が見込まれ、今後、大いに期待できる分野との印象をもった。

秋田県仙北市

〈考　察〉

今回の行政視察を通じ、特に滝沢市での総合計画策定の過程で、各年代の市民一人ひとりの意見を反映されたことで、ハード面よりもソフト面に比重をおいた計画の重要性を認識できた。安来市の総合計画においても、市民協働、クラスター型地域発展について表記はされているが、具体的な市民理解、取組みは不十分と言わざるを得ない。これは現在一部で進みつつある地域ビジョンの策定・推進が総合計画の柱として組み込まれていない点に如実に現れている。広範な地域の歴史・文化・特徴を活かし、そこに居住する住民自らがまちづくりに積極的に参画することが、安来市のスピード感ある取組みにつながるものと感じるところである。

議会として取組む議会基本条例の制定やＩＴ機器を活用した効率化の推進は、聖域へも果敢に踏み込む議会改革と連動している。自らを見つめ直し、議会人としての使命を果たすべく役割を明確にし、市民と一体となったまちづくりを進めるため、積極的な行動を誓うものである。

12月定例会は12月１日開会の予定です

第９回議会報告会における要望事項の回答

前回発行（平成28年７月20日）の「やすぎ市議会だより」でお知らせしておりました、議会報告会での要望事項の回答（行政分）が、７月21日付で近藤市長から田中議長宛にありましたので、下記のとおり報告いたします。なお、この回答文は各開催会場に議会分と併せて掲示しております。また、ホームページにもこの回答文を掲示しております。

記

１．災害時の支援等に役立てることを条件に、自主防災組織以外の自治会に対しても、一定の制約のもと要援護者台帳の提供団体とするよう要望する。

回答 関係部署、関係団体と協議・検討を行います。

２．地域にとってシンボルである十神山の単なる山としてではない、歴史・文化を紹介する案内・説明看板の設置を要望する。

回答 十神山の歴史的価値の検証も含め、総合的に検討します。

３．放課後児童クラブの運営に関する制度改正にあたって、指導員の確保、財政支援等のための市独自の制度を拡充されるよう要望する。

回答 過去には、小規模クラブに対し市独自の制度により財政支援を行ってきたこともありますが、今後も実状を踏まえながら、各クラブが健全な運営が出来るよう対応してまいります。

４．国・県において耕作放棄地対策への取組みが進められているが、併せて市独自の施策を実施されるよう要望する。

回答 引き続き国等の動向を注視しながら、実効性のある耕作放棄地対策を検討してまいります。

５．飯梨川をかつてのように魚が遡上できるよう、河口の掘削、老朽化した頭首工等の改修に併せ、計画的に魚道を整備されるよう県に働きかけて欲しい。

回答 これまでの島根県への要望に際して、「飯梨川の魚道整備については現時点では計画がない。」との回答をいただいていますが、今後の改修計画に併せて要望してまいります。

６．月山富田城跡整備に併せ、街歩きなどに対応できるストーリー性をもったソフト事業を推進し、観光ガイドや地元住民の協力が最大限受けられるよう、認識の共有が図られる体制を構築して欲しい。

回答 引き続き月山誘客推進チームを中心に、関係する地元をはじめ観光ボランティア、観光協会と連携し、情報共有を図りながら推進してまいります。

７．庁舎間の組織再配置に伴い、伯太庁舎の来庁者用駐車場が不足する事態が多々発生するようになった。早急な対策を願う。

回答 来庁者用駐車場不足の早期解消に向けて調整してまいります。

８．安来道路へのスマートインター設置について、市として積極的に取り組んで欲しい。

回答 国（国土交通省）、ネクスコ西日本、島根県等関係機関に対し要望を行いながら、協議を行っております。

９．県道安来木次線切川バイパスの早期完成に向け、県への更なる働きかけを要望する。

回答 引き続き早期完成に向け要望を行ってまいります。

10．斎場（独松山霊園）のトイレ改修（洋式化）を要望する。

回答 今後の改修計画のなかで検討してまいります。

詳細は後日、会議録にてご確認ください。
（市立図書館またはホームページ）

議会のうごき

〈平成28年７月１日～９月30日〉

７月

１日　社会を明るくする運動安来市推進大会
５日　中国治水期成同盟会連合会総会（広島県府中市）
12日　国道432トンネル起工式典
　　タブレット端末等活用推進委員会
13～15日　総務企画委員会行政視察（群馬県前橋市、岩手県奥州市、東京都江東区）
13日　神奈川県大和市議会視察来市
14日　愛知県北名古屋市議会視察来市
19日　Ｒ432（松江・安来間）改良促進期成同盟総会（松江市）
　　岡山県美咲町議会視察来市
　　北海道札幌市議会視察来市
20日　全国共進会安来地区出品対策協議会設立総会
　　島根県市議会議長会議員研修会（出雲市）
　　平成28年度美保基地納涼祭（境港市）
　　静岡県伊豆の国市議会視察来市
21日　松江安来雲南圏域幹線道路改良整備促進期成同盟会（雲南市）
　　新潟県新潟市議会視察来市
22日　議会改革特別委員会
24日　安来警察署オープンポリスステーション
25日　島根原子力発電対策調査特別委員会行政視察（松江市）
　　愛知県岡崎市議会視察来市
26～28日　文教福祉委員会行政視察（秋田県潟上市、福島県伊達市、栃木県小山市）
26日　松江安来新見間国道昇格期成同盟会定期総会（新見市）
27日　全国市議会議長会基地協議会中国四国部会定期総会（境港市）
　　中海水質汚濁防止対策協議会総会（米子市）
29日　議会運営委員会

８月

１日　高校総体テニス協議開会式（松江市）
２日　中海・宍道湖圏域市議会議長会（松江市）
４日　タブレット端末等活用推進委員会行政視察（美郷町）
９日　島根県知事要望（松江市）
13日　韓国密陽市訪問団歓迎会
15日　安来節全国優勝大会
17～19日　議会運営委員会行政視察（埼玉県飯能市、岩手県滝沢市、秋田県仙北市）
21日　日本遺産認定記念講演会・祝賀会
22日　議会改革特別委員会
　　議会運営委員会
23日　安来市種畜共進会
27日　安来地域農政研修会
　　ひだプロジェクト設立総会
30日　山陰都市連携協議会（境港市）

９月

１日　議会運営委員会
　　本会議（９月定例会開会）
　　決算審査特別委員会
２日　議員懇談会
　　決算審査特別委員会
３日　ハーモニータウン汐彩住宅祭
５日　本会議（一般質問）
６日　本会議（一般質問）
７日　議員懇談会
８日　島根原子力発電対策調査特別委員会
　　決算審査特別委員会
９日　総務企画委員会
11日　境港外港中野地区国際ターミナル供用式典（境港市）
12日　文教福祉委員会
13日　地域振興委員会
14日　予算委員会
　　議員懇談会
　　タブレット端末等活用推進委員会
15日　市庁舎等建設事業調査特別委員会
　　中海沿岸振興事業等調査特別委員会
　　議会改革特別委員会
19日　全国高校総体テニス女子シングルス優勝祝賀会（松江市）
20日　本会議（最終日）
　　議員懇談会
　　議会基本条例検討委員会
23日　中海沿岸振興事業等調査特別委員会視察（境港市）
24日　安来市総合防災訓練
25日　山陰いいものマルシェin安来開会セレモニー
　　山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会（益田市）

編集後記

９月定例会で議会基本条例制定に向け、「議会基本条例検討委員会（５名）」が設置されました。本市議会の取組むべき課題を整理し、策定目的を明確にし、議会運営の最高規範である条例の制定に向け、議論を進めてまいります。

議会だより・ホームページについて、皆さま方のご意見・ご感想をお待ちしています。

安来市議会広報委員会

第10回議会報告会を開催します！

安来市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指し、各中学校区単位で、議会報告会を開催しています。

今回は「意見交換」を中心にさせていただきます。

市民のみなさんだれでも参加できますので、ぜひお出かけください！

日　時	中学校区	場　所
11月21日(月) 午後７時00分～ ８時30分	一　中	島田交流センター
	二　中	ＪＡしまね安来南支店
	広瀬中	布部交流センター
11月22日(火) 午後７時00分～ ８時30分	三　中	赤江交流センター
	伯太中	母里交流センター

お知らせ

10月3日、葉田茂美議員より、田中議長に対して、議員辞職願が提出され、同日付で受理されました。

この度、ＳＰコードを見直し、広報紙での印刷をやめ、希望する人にＳＰコード付記した印刷物を送付することにしました。

ＳＰコードが必要な人は議会事務局までご連絡ください。

議会傍聴 または、議会中継をご覧ください（やすぎどじょっこテレビで放送します）